

■石上露子(杉山孝子) 歌人。不幸な人生のなかのわずかな期間の作品が高く評価され、山崎豊子「花紋」のモデルとも。

いそのかみつゆこ

新体詩抄・1882＝ 大阪府富田林で、酒造業杉山団郎の長女に生まれる。母は奈美。本名孝子(戸籍名タカ)。

秩父事件・1884＝ 2歳：この年、祖父の後妻に父の異母妹に当る女子が誕生するなど、複雑な家庭で、

内閣発足・1885＝ 3歳：妹が誕生。

帝国大学始・1886＝ 4歳：曾祖母が死去。

帝国憲法発布1889＝ 7歳：

足尾鉍毒始・1891＝ 9歳：

日清戦争始・1894＝12歳：母が“姦通”の疑いをうけて離縁となり、生涯この母を慕う。この年、祖父は死去。

日清戦争終・1895＝13歳：祖父の後妻の勧めで、その実家から堂嶋女学校に通い、梅花女学校に転校するが、退学して自宅に戻る。

白馬会・・・1896＝14歳：父が再婚。

八幡製鉄始・1897＝15歳：家庭教師神山薫をつけられ、賛沢に教育される。幼時から「源氏物語」に親しむ。

ピアノ国産化・1900＝18歳：神山薫に連れられて、皇太子の成婚祝いの行われた東京へ見物に出かけた。神山薫の遠縁にあたる紀尾井町の長田正平に出会い、以後、相互に往来し、恋心を覚える。早くから詩文の才を発揮し、

田中正造直訴1901＝19歳：***浪華婦人会機関誌「婦人世界」に匿名で短文を発表。**

日比谷公園・1903＝21歳：妹が結婚。東京新詩社社友となり、石上露子の名で「明星」に短歌が掲載されると、

日露戦争始・1904＝22歳：短歌や美文を立て続けに「明星」に発表。以後、連年発表続けるが、

日露戦争終・1905＝23歳：

長田も新詩社に出入りしたが、間もなく海外に留学。露子は父の勤める結婚をすべて断り、正平の帰りを待ち続けた。上京して社会主義思想に関心を示し、西川光次郎らと交流、「平民新聞」を購読したりする。

アヲキ創刊・1908＝26歳：奈良出身の片山荘平と結婚することになり、***妻の文筆活動を嫌う夫が、歌の載った古い雑誌など破り棄て、新詩社にも独断で脱会届を送ったため、文筆活動を停止。**

伊藤博文暗殺1909＝27歳：

韓国併合・・・1910＝28歳：長男を出産。

大逆事件判決1911＝29歳：父が死去。長女を出産するも夭折。

明治天皇没・1912＝30歳：

大正政変・・・1913＝31歳：この年、**長谷川時雨が読売新聞連載中の「明治美人伝」に取り上げられる。**

21ヶ条要求・1915＝33歳：次男を出産した頃には、夫との間に愛情は失せ、

ロシア革命・1917＝35歳：人工流産して衰弱。**病院発行のしおりに随筆「流産」を寄稿。**

ペルシヤ条約・1919＝35歳：**生田春月編「日本近代名詩集」に採録される。**

大暴落・・・1920＝36歳：

原敬首相暗殺1921＝37歳：

夫は杉山家の田畑を売り、株に手を出し、第一次大戦後に失敗して家産を傾けた。露子はその後始末に奔走したが追いつかなかった。夫は妾を囲い、子を生ませていた。

共産党事件・1928＝44歳：長男が四高に入学。

世界恐慌・・・1929＝45歳：

満州事変・・・1931＝47歳：***長男が京都帝国大学に、次男が第三高等学校に入学したのを機に、富田林を出て息子と京都上賀茂に住い、再び作歌活動を始め、20数年ぶりに作品を「冬柏」に送る。以後、連年作品を発表し続けるが、**

帝人疑獄事件1934＝50歳：***夫の隠居で、長男が家督相続したため、浜寺に戻り、再び、中断。**

日中戦争始・1937＝53歳：

総動員+健保 1938＝54歳：

第二次大戦始1939＝55歳：胸を患っていた長男が隠居、分家していた次男が長男の養子となり、家督相続。

日米開戦・・・1941＝57歳：長男が死去。継母も死去。

創価学会検挙1943＝59歳：この年、**島田謹二が自著に「石上露子集」として掲載。**

年金+総武装 1944＝60歳：航空本部分となっていた次男がジャワより帰還し、東京で結婚後、浜寺に帰る。

敗戦・・・1945＝61歳：夫が死去。次男が離婚。この年、**吉田精一が「近代秀歌鑑賞」で取り上げる。**

新憲法公布・1946＝62歳：浜寺から富田林の旧宅に帰る。

新憲法施行・1947＝63歳：この年、**佐藤春夫・島田謹二・吉田精一共著「近代抒情詩選歌さうび」に「小板橋」採録。**

以後、「小板橋」中心に、度々取り上げられて行く。

三大事件・・・1949＝65歳：次男が再婚。

朝鮮戦争始・1950＝66歳：孫が誕生。

独立回復・・・1951＝67歳：この年、旧宅が古文書調査・建物調査対象に。孫が誕生。

メデー事件・1952＝68歳：脳溢血で倒れ、半年病臥。

国連加盟・・・1956＝72歳：次男が浜寺の家で自殺。

美智子妃・・・1959＝77歳：脳出血で、**没した。**

翌年、松村緑編「石上露子集」が刊行される。山崎豊子の「花紋」のモデルといわれる。